

Water Based Rooftop Waterproof Paint



陸屋根や
ベランダの
簡易防水・防塵

水性
簡易

屋上防水塗料

各種シート・ウレタン塗膜防水面にも!



※写真はイメージです

コンクリートの陸屋根

塩ビシート防水面
ゴムシート防水面

コンクリートのベランダ

紫外線
劣化防止剤
(HALS)
配合

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

標準塗り面積(2回塗り)
8.5~10.5㎡
タタミ 5~6.5枚分

乾燥時間
夏期/1~3時間
冬期/3~5時間

塗り重ね時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

水
(95%以上)
でうすめて下さい

8kg

注意書きをよく読んでからご使用下さい

裏面

商品名 水性簡易屋上防水塗料 品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、水

特長 ●厚塗タイプの高簡易防水塗料です。●特殊架橋システム及び紫外線劣化防止剤(HALS)により、耐候性・耐久性に優れた高性能塗料です。●シート防水面への密着性に優れ、塩ビシート、アスファルト防水面に直接塗装できます。●酸性・中性・塩基性・塩害に強い塗料です。●取り扱いが簡単で、乾燥が速い水性タイプです。●骨材の働きにより、滑り止め効果もあります。●万能ローラー等で簡単にきれいに塗装できます。

用途 ●陸屋根やベランダのコンクリート、モルタルの簡易防水・防塵 ●各種シート防水面(塩ビシート、ゴムシート(EPM))、アスファルト防水面、ウレタン塗膜防水面(ゴムシート及びウレタン防水面等)にはあらかじめ専用シーラーとの密着性の確認必要)FRP防水面には塗装できません。絶えず水がかかったり水につかる箇所や、いつも濡っているところは適しません。

塗装方法
① ●はがれがかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンダーペーパーなどを使用して十分に取除きます。
●塗る面の汚れ、ホコリ・砂・コンクリートのアクカビなどを取り除き、十分に水洗いし、よく乾かします。
●力ビはカビで汚れて、油分はベイントする液で拭いてよく落とします。
② ●塗料が十分に乾いたところは、あらかじめマスネットテープなどでおきます。
●あらかじめアサビベネ水性簡易屋上防水塗料専用下塗りシーラーを塗りしておきます。(下の下地処理の注意の注1) 水性シーラーの下塗りが必要なものもあります。
③ ●塗料は、桶などで容器の底から十分にかき混ぜて均一にします。塗布を開始する前に、容器を逆さまにして十分振り回せば、よく混ざります。
●塗料が乾いた場合は、容器の底を切りながら均一に混ぜ、桶などで底から十分にかき混ぜて均一にします。
●塗料の粘度が高くなりすぎたときは、水で少し(5%以内)うすめます。
●ローラーや筆で塗るときは、先ずすくいあげて乾かします。広い面積の場合はローラー/ペンを、狭い、均一に塗る(0.4~0.5kg/m²)塗りです。
●1回塗りの面積が十分に乾いてから、必ず2回目塗る(0.4~0.5kg/m²)塗りです。
●マスネットテープは、塗装後すくにはがします。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水で洗って下さい。

下地処理の注意 ① つるつるした面は、サンドペーパーで表面を磨いたらから塗って下さい。② ビと割れ・穴・コンクリートなどは、あらかじめセメントやコーキング材などで補修しておきます。③ コンクリートやモルタル面の劣化が著しく、手で触れて、手に粉がついた、口の中にと取れるような場合は、きれいに除去してから油性シーラーを下塗りして下さい。④ 新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工1ヶ月以上経ってから行い、必ず油性シーラーを下塗りして下さい。

保管上の注意 ① 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食したすらはなように注意して下さい。② 直射日光や火気のある場所、-5℃以下になると、自動車内など温度が高くなると、容器が膨らみやすくなることは適かいて下さい。③ 残った塗料は、しっかりとフタを閉め、できるだけ早く使い切ってください。

取扱い上の注意

① 表示の用途以外に使用しないで下さい。② 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱ってください。③ 塗料がついて④ 日に、風通しをよくして乾かして下さい。⑤ 塗装後1日(夏期)~3日(冬期)以内に結露した雨が降ったと、⑥ 雨や水が流れる後は、2日以上、下地を十分に乾燥させない。水分の影響で乾燥が遅れたり、塗面にふくれを生じることがあります。⑦ ⑧ 気温が低い時(特に夏期)に塗装する場合、塗料の表面が早く乾いてしまうので、何度も塗り重ね(1回塗り、ローラー塗り)をせし、すくすく塗って下さい。また、容器内の塗料の乾りを防止するため、フタを開けたまま放置しないで下さい。⑨ 雨や水が流れる後は、2日以上、下地を十分に乾燥させない。水分の影響で乾燥が遅れたり、塗面にふくれを生じることがあります。⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

危険

●強い眼刺激
●眼器の障害
●水生生物に有害

救急処置

●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●吸って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●誤食、ガスなどを入り込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所へ安静に、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 ASAHI PEN

大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300

プロテクター: プラスチック(PP)
容器: キャップ: スチール

日本製
01-1201